¿QUE TAL?

2024 年 9 月 1 日　　Versión4

ニカラグア共和国　(首都マナグア)

人口　650 万人

面積　九州と北海道くらいの面積

気温　平均 28℃

平均年収　40～100 万(都市)

国民性　とても明るく親切

レオン大聖堂　世界遺産

ニカラグアの不思議

ニカラグアでの生活も 1 年を迎えました。今回は、ニカラグアの何故そうなの？と不思議に思っていることを紹介してみたいと思います。

≪交通≫

まず、ほとんどの交差点に横断歩道がありません。首都の主要な大通りには 10 キロの区間に 3 つの陸橋がありますが、車優先の中でほとんどの人が車を避けて道路を横断しています。特に危険なのは、右折は信号に関係なく右折できるので特に注意が必要になります（※ニカラグアは右側通行）。通勤のラッシュ時には各交叉点に多くのの警察官が立ち、

大渋滞を避けるため、信号機を無視した交通整理が行われ交通量の多いい大きな通りを優先して通行させています。また、車内ではシートベルトはほとんどがルールを守り装着していますが、車の荷台に多くの人を乗せて走っている車も多く、規制が統一されてないことに驚きます。バイクもヘルメットは必須のようですが、夫婦が子供を真ん中に挟んでヘルメット無しで 3 人乗りをしてるケースをよく見受けます。

奇妙な光景としては、沢山の車が走る中を、当たり前に馬車が走っており、馬車を避けながら車が走ってます。

道路や歩道にはごみが多く散乱しており、車からのポイ捨てが大きな原因のようです。道路にごみを捨てることの罪悪感がないように思われます。

歩道を歩いていると側溝にふたがしてないところが所々にあり、落とし穴のようになっており夜間などはとてもきけんな状態になっています。基本夜間に歩くことも危険なので出歩きません

≪勤務先≫

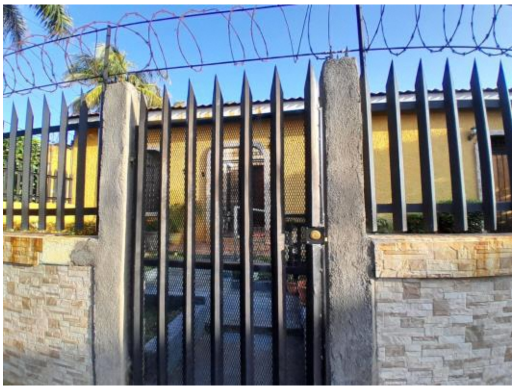
次に、私の勤務先での不思議について紹介します。国の公的機関の事務所で勤務しておりますが、年中気温が高い為なのかスーツネクタイをすることもなく、毎日がラフなジーパンや T シャツ、スニーカーで勤務しています。ただ、大事な会議などではジャケットを着ることが求められます。

仕事では各自 1 台のパソコンが割り当てられており、手書きで資料作成をすることはほとんどありません。業務報告もほとんどが携帯の SNS の WhatsApp を使用して行われています。書類にサインが求められるときには、日本では当たりあえに黒ですが、ニカラグアでは青のボールペンでないと認められないようです。また、その青のボールペンの収納は、女性は髪の毛の団子に刺している人多く見ます。 オフィスには冷蔵庫と電子レンジはありますが、給湯室の様な水の流し場所がありません。水道水はなるべく飲まないので給水機が設置されています。が実際は水道の水が入っているみたいなので必ず沸騰させて飲んでいます。

ニカラグアでは、職場の女性進出が進んでおり、大臣をはじめ女性管理職や女性スタッフが男性よりも多く目につきます。私の部署でも 8 割を女性が占めています。実際ニカラグアはジェンダーギャップ指数では世界第 7 位で途上国の中ではトップにあります。ニカラグアは国政の女性議員に一定数の議席を割り当てる制度（クオータ制）を導入しており、国会議員（一院制）の 48.3%、閣僚の 37.5%が女性です。そういった意味でも女性がたくましく感じます。

≪ホームステイ≫

ホームステイ先では、番犬として犬が飼われており、ニカラグアではほとんどの家で犬を見かけます。夜間の犯罪率高い為か、一般的に施錠は高い外壁、中間壁、家のドアの 3 か所に鍵があり厳重になっており、出入りの際には必ず鍵を掛けます。



当然お風呂はなく、シャワーだけですが首都のマナグア(ニカラグア)では気温が高い為か水シャワーを使っているところが多くあります。水も勢いよく出ることはなく、ちょろちょろしか出ないことが大半です。夕方には全く水が出ないことも時々ありとても不便を感じます。ライフインフラがまだまだ整っていません。家電もテレビ、冷蔵庫、電子レンジはありますが、洗濯機とクーラーの普及は電気代が高い事もありまだまだ低いようです。洗濯はほとんどが手洗いで行われており、調理はプロパンガスが使われています。

ニカラグアでは、最先端な場面と途上国な場面が混在しておりとても興味深い国です。

今後急速な発展をしていく可能性が高く、非常に楽しみな国です。

皆さんも、ニカラグアに少し興味を持ってみませんか！